道場通信

−解脱会太陽精神碑−

かけはし

第１９４号

令和５年１２月１４日発行

解 脱 錬 心 館

『剛　魂　健』を指標に一年を振り返る

　早いもので一年の稽古納めを迎えようとしています。今年は門下生諸君にとってどんな一年だったでしょうか。

　錬心館では5月に行われた埼玉県道場少年剣道大会で小学生が優勝、７月の全日本少年少女武道大会では、小学生が２チーム出場し優秀賞（ブロック優勝）・優良賞（ブロック準優勝）を成し遂げ、更に中学生が全国道場少年剣道大会で見事ベスト１６の入賞を果たしました。その勢いのまま迎えた８月の全国中学校剣道大会埼玉県予選会で、中学生門下生が７年ぶり７回目の優勝を果たし、その後の関東大会で第３位、全国大会でもベスト１６と好成績を収める事ができました。今年は特に小中学生共に努力が実を結び、現在道場に掲げております優勝旗は過去最多となり、大きく飛躍した一年となりました。一般部も子供達に負けじと、自ら厳しい稽古に励み教士１名、錬士５名、六段３名がご昇格・ご昇段されました。誠におめでとうございます。

　後援会では、４年ぶりに親子レクリエーションを開催しました。役員並びに部員の皆様が準備に準備を重ねて念入りの打ち合わせをして頂いたお陰で、当日は大盛況となり普段道場で見せない子供達の一面も見られ、とても有意義な一日を過ごす事ができました。コロナ禍で実施できなかった行事が少しずつではありますが再開され、人と人との繋がりや、互いに協力し合い何かを成し遂げることの喜びを再確認することが出来た一年となりました。

　このように錬心館では各分野、各年代層で更に伸長充実が図られ大きく成長を遂げる事ができました。来年も引き続き「同心協力」して、日本一の道場を目指し尚一層の努力精進をして行きましょう。

≪ 全クラス集合写真 ≫

年末年始の行事予定

《１２月》

○　館の行事

◎今年の稽古納めは各クラスの最終日を稽古納めと致します。

木　刀　教　室　　１２月２１日（木）通常の稽古時間（１０時～）
一般部（午前）　　１２月２０日（水）通常の稽古時間（１０時半～）
一般部（午後）　　１２月２１日（木）通常の稽古時間（１６時～）
初心者・少年部合同　１２月２２日（金）１７時～１８時
※強化選手の稽古納めは、強化予定表を確認して下さい

《１月》

○　館の行事

７日（日）　新年稽古始め（対象：全門下生と家族）午前９時集合
９時３０分～新年祈願祭（於　御霊地太神社殿）※１１時頃終了
・稽古着、袴、胴、垂を着けて集合（少年部・日の丸手拭持参）
・今年も鏡開きを行います（お汁粉）
・一般部は初稽古を行います

８日（月・祝）～１２日（金）　寒稽古（月曜～金曜まで毎日実施します）
・初心者クラス・少年部３年生以下　１６時～１７時
・少年部４年生以上・強化選手　１７時３０分～１８時４５分
・一般部　１９時３０分～２０時３０分
※木刀教室は通常通り（火・木）

１６日（火）～令和６年前期通常稽古開始

※稽古活動休み＝１３日（土）

○　大会・審査会

９日（火）～１１日（木）　埼剣連寒稽古（一般・上尾）
２０日（土）　北本市剣道連盟・１級審査会（小６以上・錬心館）１３時３０分～
２１日（日）　四地区講習会（一般・川口）

○　受入行事

２０日（土）　北本市剣道連盟・１級審査会（北本市剣道連盟）

《２月》

○　館の行事

※稽古活動休み＝１７日（土）大会行事の為
２３日（金・祝日）祝日の為
２４日（土）受け入れ行事の為

○　大会・審査会

３日（土）～４日（日）　段位審査会（七段・六段・福岡）
８日（木）　埼剣連月例稽古会（一般・上尾）
１７日（土）　第６８回埼玉県大会（一般・上尾）
１７日（土）～１８日（日）　段位審査会（七段・六段・長野）
２３日（金・祝）全日本都道府県対抗剣道優勝大会予選会（一般・上尾）
２４日（土）　称号推薦認定会（一般・上尾）
２５日（日）　段位審査会（初段～三段・上尾）

○　受入行事

２４日（土）～２５日（日）　剣道研究会（全日本剣道連盟）

☆日本剣道少年団研修会 体験実践発表会埼玉県予選会　第１位（関東大会出場）

中学生の部　　「　努 力 と 感 謝　」　　中学３年　岡谷瑚太郎

剣道は私に、努力が必ず報われることを教えてくれました。昨年の新人戦で敗退し、自分の弱さを痛感しました。絶対に後悔したくない。最後は嬉し涙で終わりたい。この悔しさから私は、「最後の一年は剣道に人生の全てをかける」と覚悟を決めました。勝負の神様が夏、私たちに微笑むように、日々の厳しい稽古や合宿、普段の生活から更衣室はゴミ一つ落とさないように目を配り、負けの要因を一切作らないように心がけながら生活しました。稽古を通してチーム全員が結束し、仲間との絆が私たちを強くしました。

朝早くに、同級生と共に道場に来て、モップがけを始め稽古やトレーニングに汗を流す日々。毎日のミーティングでアイデアを出し合い、チームの力を高めるために努力し続けました。そして自分の限界に立ち向かう厳しい稽古を通して弱さを克服しようとしました。

しかし、五月に迎えた道場の県大会で、ベスト１６で敗退しました。代表戦で私が負け、苦い経験となりました。先生からの厳しい言葉が私たちの心に響きました。「この情けない結果をしっかり自分に受け止めなさい。あなたたちはまだ努力が足りない。」キャプテンとしての責任を背負い、初めは現実を受け入れることができませんでした。弱さを認めながらも、泣きながら稽古を続けました。その後の各種錬成会や大会も負け続け、努力は無駄だと諦めかけている自分がいました。

ある日、先生はミーティングで「努力する人は夢や希望を語り、怠けている人は不平不満を語る。」といいました。この言葉は、中学生に入学してからずっと私たちに対して繰り返されました。私は夢や希望を語る事ができているのか。不平不満を口にしていないか。自分を見つめ直しました。周りは全国大会に向けてひたすら努力している中、私はなかなか覚悟を決められませんでした。そんな中、私が厳しい稽古に負けそうになっている時、先生は私に言いました。「キャプテンのあなたが仲間に弱い姿を見せて仲間はあなたについてきますか」私はチームを引っ張りまとめる立場でありながら情けない姿をしていることに気づき、「このままではいけない。仲間を全国に導くのは自分だ。」と覚悟を決めることができました。私は目標である「全道連・全中優勝」に向けて、さらなる努力を積み重ねました。どんなにきつくても弱い姿は出さない。先生方や先輩方のように強くなりたい。先生方の助言と、共に努力する仲間に支えられ、自信を取り戻していきました。

全国中学校剣道大会出場をかけた予選会の前日。先生は私に「最後は岡谷、あなたです。」と言って下さり、今まで積み重ねた日々を思い返し気持ちが高ぶりました。そして迎えた全中予選。厳しい状況がずっと続きましたが、先生方と仲間に支えられ優勝することができました。優勝を果たした瞬間は、努力の成果を実感した瞬間でした。先生方と仲間と共に涙を流し、喜びに包まれた瞬間は、一生忘れません。この経験は今までの先輩方が私たちに素晴らしい経験を与えてくれて、本番前の稽古にわざわざ駆けつけて稽古をつけてくれたことが自分たちの結果につながったのだと思います。先生方、仲間、ＯＢの先輩方、今までずっと応援してくれた保護者の方々全員で勝ち取った優勝でした。

その後の関東大会３位の結果も、全道連・全中も、努力が報われて大舞台に立って試合できたことの喜びを感じた瞬間でした。目標の全国大会はベスト１６で終わってしまいましたが、今までの努力に対して後悔はしていません。最高の先生方と最高の仲間に出会えたこと、私を支えてくれた全ての方々に感謝しています。この充実した一年はとても幸せなものでした。

私の剣道人生はまだ始まったばかりです。これからも感謝を忘れず何事にも努力し続け、素晴らしい先生方と最高の仲間と共に夢を語り、希望を胸に剣の道を歩んでいきたいと思います。

木刀教室北本産業まつり・演武令和5年11月3日

号令　近藤紘一先生
演武　佐藤尚宏　新島陣　小松惠　鴨田忠　松本邦雄　田島正己　田島京子　吉原源剛　橋本裕子

～ お 知 ら せ ～

◎第７１回全国青年剣道大会（１１月・東京）

準優勝　埼玉県チーム

先鋒 井田　光哉（一般）　中堅 川上　拓真（OB）

◎第５２回神栖市菊祭り剣道大会（１１月・茨城）

高学年団体
優　勝　岡谷・関根・石井楷・沼田・石井明
低学年団体
敢闘賞　小林・清水・関根

◎第２６回彩北少年少女剣道大会（１１月・熊谷）

高学年団体
優　勝　岡谷・浅野・石井楷・沼田・石井明
第３位　大泉・田中・小林・千葉・佐々木
低学年団体
第３位　録澤・塩谷・清水・小林謙・小林優
個人戦
小６　優　勝　石井　明　　第３位　石井楷人
小５　第３位　岡谷　尊　　第３位　大泉空志
小４　第３位　小林優菜

☆入門おめでとうございます―

髙瀬（たかせ）　篤人（あつと）（小５）　河野（こうの）　壮介（そうすけ）（小１）

☆昇段おめでとうございます------

教士　片岡 祥子（一般）　錬士　中池 司郎（一般）
六段　泉　和毅（OB）　六段　川上 拓真（OB）

◎第２１回桶川べに花剣道大会（１１月・桶川）

小学年団体
優　勝　岡谷・関根・石井楷・沼田・石井明
中学生団体
第３位　猿山・大野・浅野・吉田・吉野

◎第５１回関東少年剣道大会（１２月・栃木）

中学生団体　準優勝
大野・野澤・浅野・小林・吉田
高学年団体　第３位
岡谷・佐々木・石井楷・浅野・石井明

◎第４６回日本剣道少年団研修会
体験実践発表会埼玉県予選会

中学生の部
第１位　岡谷瑚太郎（中３）関東大会出場
第２位　吉野一真　（中３）
敢闘賞　櫛毛美紗希（中３）
小学生の部
敢闘賞　石井　明（小６）

―　編　集　後　記　―

門下生諸君にとって辛く厳しい、しかし努力のしがいがあった令和５年も後わずかで終わろうとしています。この一年、子供達は一生懸命稽古に励み、心身共に大きく成長しました。これも先生方は勿論の事、一般部の皆様、後援会保護者の皆様のご理解とご支援、ご協力の賜物と深く感謝申し上げます。来年も宜しくお願い致します。（Y）